

第1回情宣・教育・文化レク委員会を開催

中央本部は、9月9日(水)に、西阪急ビル地下会議室において第1回情宣対策委員会、「第1回教育委員会」、「第1回文化・レク活動委員会」をそれぞれ開催した。

各委員会には、各地本・総支部から代表者、各担当部長等約50名が出席し、運動の経過と向こう1年間の活動方針について挨拶を行った。

第1回情宣対策委員会 情宣活動を通じてのJR西労組運動の見える化

今年度もJR西労組運動の次代への継承と浸透を図るため、機関紙やニュース、ホームページを通じて「JR西労組運動の見える化」を更に推進すること、組合員により親しまれる内容とする



3委員会を通して座長に選出された川原副委員長

第1回教育委員会 役員・中堅役員の育成と分会活動の充実

のロゴを掲載し、ABC運動の浸透を図ることを確認した。

そして、JR西労組の情勢

第1回文化・レク活動委員会 レクリエーション活動に更なる検討を加える

強化を図るため、全分会長出席のもとでの開催、中央本部と共催のスクールとして、「新入組合員半年後研修」「EM層役員研修」「役員基礎コース」「新入組合員検修」の開催と各地本・総支部主体で行う「ユニオンスクール」の教育をしっかりと行うことを要請した。

そして、出向者や休職者が委員長の特別講義などを聴講することは有益であることから、各級機関教育担当者との連携を図りながら検討していくことを確認した。

また、総合生活サポートガイドブックについては、引き続き閲覧できることから、各地本・総支部等で実施する研修等での活用を併せて、多くの組合員に周知されるようニュース等に掲載することを要請した。

第1回文化・レク活動委員会 レクリエーション活動に更なる検討を加える

昨年の中央本部主催レクリエーション活動の結果、文化・文芸作品コンクールに応募状況受賞について報告がされた。文化・レク活動については、趣味やスポーツを通じて組合員相互の親睦を深める取り組みとして、シニア組合員・女性組合員が参画しやすい活動を進めることを確認した。

文化・文芸作品コンクールについて、引き続き、写真部門、川柳、標語部門と、その他作品部門にポスター・イラスト・ショートムービー・4コママンガの募集を行うことが確認された。

レクリエーション活動については、6種目の大会を隔年で開催しており、今年度は金広島地方本部準備の下「ソフ

第1回地本代表者会議

2026年度総合労働協約改訂 最終交渉に向け意思統一を図る

JR西労組は2026年9月10日(木)、西阪急ビル8F(木)に、西阪急ビル8F会議室において第1回地本代表者会議を開催した。

初めに中央本部を代表して羽野中央闘争委員長が要求書を提出して以降4回にわたる団体交渉の経過、大会以降の熊本地震や北陸地区での豪雨災害、東武鉄道での触車事故、直近のJR西日本の経営状況とABC運動のロゴの活用、JR西労の動向について挨拶を行った。

中央本部より、安全につい



挨拶する羽野中央執行委員長



安全の確立と生き活きと働き続けられる環境の実現に向け意思統一

それぞれの委員会において、各地本・総支部の担当役員から積極的な発言質疑があり、向こう1年間の方針に更なる肉付けがされた。JR西労組運動の柱である企画提案運動を推進し、更なる組織の充実と強化を図るため、様々な知恵と工夫を出し合い運動を進めていく。

そして、「第30回JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会は、2026年2月13日(土)に開催が出来るよう準備を進めていくことが確認された。

また、記念すべき30回大会に向けて「JR西労組ALL STAR」チームの編成を検討していくことが提案された。

第31回 賃金実態調査の実施

2027春闘の 重要な基礎データとなります



全組合員に100%集約に向けて 協力を要請する!

ロマンは実を結ぶ

米子地方本部 米子支部

No.391



米子列車区分会結成

米子支部は、駅や乗務員区所など8分会で構成されています。今年度は組織の未来につながる2つの取り組みがありました。

まずは3月、米子運転所分会と米子車掌区分会が統合し、「米子列車区分会」が発足しました。200人を超える組合員を擁する米子支部最大の分会の誕生です。

それぞれの分会が培ってきた経験や強みを活かし、新たな価値を生み出すことができるよう、より活力ある分会活動を目指してまいります。

6月、米子市議会議員選挙が行われ、組織内議員であった。

重ねてきた取り組みが二つ形となり、米子支部にとって実を結んだ1年となりました。(米子地本発)

